

第4回 松山駅まち会議 議事概要

開催日時：令和4年6月13日（月）午前10時から午前11時
場 所：センタービル1号館 4階 第1会議室
及びオンライン開催(ZOOM)

午前10時 開会

《事務局 挨拶》

- ・あいさつ

《委員紹介》

- ・司会より、委員及び欠席委員の紹介

《座長挨拶》

【羽藤座長】

- ・広場の基本設計について、西口のデザイン案について、また、事務局の挨拶にもあったバスプロジェクトは駅まちの中でも重要なものである。
- ・1時間で議題が3つあるため、段取りよく進めていきたい。

《議題1. 松山駅前広場等基本設計（デザイン検討）について》

【事務局】

- ・資料1に基づき、松山駅前広場等基本設計（デザイン検討）業務委託について説明

【コンソーシアム】

- ・資料2に基づき、企画提案書（プロポーザル方式）説明資料について説明

【A委員】

- ・交通結節機能に配慮し、JR松山駅のとんがり屋根を彷彿とさせるデザインの提案に感謝している。今後、JR松山駅の利用者の動線、コンコース、そして様々な二次交通との結節を含めた人の流れを考慮し、関係者間で協議を進めていく。

【B委員】

- ・駅前広場のデザインについては、様々な制約がある中で、これから議論が進んでいくことと思っている。提案の中では、大手町通りからの視点についても配慮いただいております、これからJR松山駅周辺が大手町とも一体となった面的な整備を進めていく中で、提案されたデザインも位置づけられることと思う。

【C委員】

- ・富山駅前広場でも、広場機能や人が集うといったコンセプトをもとに整備がなされ、非常に上手くいっている。ただ、駅は町の玄関でもあるので、新幹線が駅前広場にいる人から見える、あるいは、鉄道に乗っている人から広場が見えるという、「見る・見られる」といった要素についても検討いただければと思う。

【コンソーシアム】

- ・電車を「見る・見られる」という視点については、実際に模型を作りながら検討しているところであり、引き続き視点場の創造に積極的に取り組んでいきたいと思っている。

【D委員】

- ・大手町通りや宮田町の路面電車の電停と歩道のアクセスが危険であるため、バリアフリー化し、安全を確保していただきたい。路面のデザインについては、誘導ブロックを濃い黄色にするなど工夫をお願いしたい。

【コンソーシアム】

- ・電停の位置や歩行者の安全性については、重要視しながら検討を進めている。誘導ブロックのデザインについても、今後注意して検討していきたいと考えている。

《議題2. 松山駅西口のデザインについて》

【事務局】

- ・資料3：松山駅周辺デザインコンセプト
- ・資料4：西口デザインに基づき、松山駅西口のデザインについて説明

【E委員】

- ・JR松山駅西口は住環境であり、通勤や通学で利用している人が接していく重要な場所であると思う。デザインについては、より基本方針に沿ったものになっているという印象を受けた。長屋門のような落ち着いたデザインは、東口とのデザインの接合といった点でも良いと思う。

【C委員】

- ・資料4の4ページについて、駅舎の上半分のガラス部分を長屋門の白い壁とみなすようなデザインは、実際にガラスは白くは見え、白さをどのように演出するのかを検討し、確認する必要がある。場合によっては、コンセプトを十分に反映できていない可能性もあるかもしれない。
- ・資料4の5ページについて、駅舎全体の色味は空調を意識し、黒く整えたことと思うが、空調だけにこだわって全体の印象を整える以外にも選択肢はあると思う。例えば、西口は東口と比べ、広場空間が広々としていないため、白を基調とした色味にし、開放的で明るい気持ちになるようなデザインにするなど、検討する余地もあると感じた。

【コンソーシアム】

- ・駅舎の模型を作成する中で、デザイン上の課題は空調機が存在だけではなく、他にも様々な課題が確認されたため、上手く馴染ませ、全体の統一感が出るようにダークな色味にしていた。駅舎の上半分のガラスの部分が白に見えるかどうかといった指摘はまさにそうであると感じ、リバイスする余地があると思う。

【C 委員】

- ・駅舎の空調部分については、駅前の玄関に空調を持ってこないパターンと、将来的にビルが建つ可能性があるエリアのため、それを前提に考えるパターンの2つがあると思う。空調のデザインにとらわれすぎずに、発想を変えてみるのも良いと感じた。

【A 委員】

- ・空調を設置する場所が限定されており、ここに設置せざるを得なかった。また、真正面に別の敷地があり、その陰に隠れるように設置したということである。

【D 委員】

- ・駅舎西側はガラスが多いデザインとなっているが、日が暮れ夕日が当たると、視野に影響が生じる人がいることも考慮し、ガラスの素材等についても検討していただきたい。

【コンソーシアム】

- ・駅舎の色味を白くすると、明るい気持ちになる一方で、夕方には日光が当たり、明るすぎるかもしれないという懸念もあり、どのように折り合いをつけていくのかを検討する必要があると思われる。

【事務局】

- ・駅舎のデザインについても障がい者団体の方とよく検討しながら進めていく必要があると思う。

《議題3. バスタプロジェクトについて》

【事務局】

- ・資料5：バスタプロジェクトの取り組み
- ・資料6：バスタ事業の事例に基づき、バスタプロジェクトについて説明

【F オブザーバー】

- ・JR 松山駅周辺にはポテンシャルがあることは認識しており、JR 松山駅の交通拠点機能強化に向けた検討、議論を進めている。国としても、可能な限りバックアップはしていきたいと考えている。

【C委員】

- ・駅前広場のデザインなどを検討していくうえで、バスタプロジェクトの規模が密接に関係しており、松山でのバスタプロジェクトの規模についても、いつ頃になれば決定するのか気になっている。プロポーザルの提案書の中にもあったような、バスタプロジェクトの屋上部分を庭園にすることについては、バスタプロジェクトの規模が大きい場合、屋上庭園のフロアが高くなり、鉄道の構造物を塞いでしまう可能性がある。その場合には、塞いでいるフロアをガラス張りにする等、抜け感があり、一体感を持たせたデザインにするなど検討する必要がある。

【G委員】

- ・現在の JR 松山駅周辺には駐輪場が多数あるが、全て平面的なものであり、景観としてはあまり良くないものである。また、駅舎やバスタプロジェクト内の店舗を活かしたにぎわいの創出についても検討していただきたいと思う。また、西口に 30m 道路が新設されるとのことだが、動線やバスの使い方等も検討していただきたい。

【事務局】

- ・駐輪場については、方向別に必要だろうということで検討を進めている。西口の 30m 道路については動線を考慮しながら今後検討していく。

【H委員】

- ・道後地区としても、JR 松山駅の開発を待望しており、その実現と道後の観光交流の拡大に繋がることを期待している。ただし、JR 松山駅が新しくなったことで、新たなお客さんが来るというわけではなく、JR 松山駅を交通拠点とし、全国の様々な方面を繋ぐことに加え、地元も集客に尽力し、全国から多くのお客さんを集めていく必要があると思う。いずれにしても、JR 松山駅が新しく生まれ変わり、様々な機能が入ることを大いに期待している。
- ・駅を降りて、自転車が並んでいる景色が目につくのは美しくない。また、JR 松山駅の周辺にビルが連立し、駅が隠れてしまわないよう十分に配慮し、まちづくりの中で検討していただきたい。

【羽藤座長】

- ・駅まちに様々な制約がある中で検討し、実現していかなければ、都市間競争の中で地域が持続していかないという危機感もあったのだと思う。こういったことを念頭に置き、今後も検討を進めていただきたい。

午前 11 時 閉会